



# 加藤なを子 活動レポート

## 県政へのかけ橋



<連絡先> 藤沢市藤沢2-3-2

Tel.0466-25-4776 fax 25-4761

発行: 日本共産党・加藤なを子事務所

# 介護保険改悪

## 負担増

## 給付減

厚生労働省は10月31日、社会保障審議会（厚労省の諮問機関）部会で議論されている介護保険制度の改定の見直しの論点を正式に提示しました。

### 利用料2割3割負担の対象拡大 要介護1, 2の保険給付外し



- ◆利用者負担  
介護サービスの利用料の2割、3割負担の対象を拡大。
- ◆「軽度者」外し  
要介護1, 2の方々の保険給付をはずす。
- ◆ケアプランを有料化  
現在、ケアプランには利用者負担なし。それを有料化する。
- ◆老健施設などの相部屋を有料化  
特養ホーム入所者の部屋代（水光熱費など）を保険給付から外し、さらに今回、老健の多床室の部屋代も保険給付から外す
- ◆保険料納付年齢引き下げ、利用年齢は上げる。  
など7項目

何よりも利用者への影響と、利用者家族の不安や負担が増します。介護事業所の運営は困難になり、介護を担う方たちがますます働きにくくなります。一緒に、介護保険制度改悪 反対の声をあげ、中止にさせましょう！

### なを子の花だより

### ジンジャー

ジンジャーの白い花です。白い蝶が群れているように見えることからバタフライジンジャーとも呼ばれるそうです。原産地は熱帯アジアで甘い香りがします。花言葉は「豊かな心」「慕われる愛」甘い香りからきている花言葉でしょうか。花は7月～11月まで咲き続けるようです。葉はしょうがに似ていますが、残念ながら食用はできません。



# 県立高校統廃合・削減

## 定時制募集停止？



11月3日 北部地域の議会報告会  
柳沢じゅんじ市議（左）と加藤なを子

神奈川県教育委員会では、少子化を背景に、2016年度から2027年度までの3期12年で、県立高校を20校程度削減する計画です。

10月25日の臨時会で、2024年度からの高校再編計画「3期」中に、新校の設置が完了する5組10校の再編案が示されました。県立高校10校を5校に削減する統廃合と6か所の県立定時制高校の募集を停止することが、十分な議論もおこなわれず、決められてしまいました。

10月29日の県議会文教常任委員会に計画案として報告されました。

2026年度には麻生総合高校→田奈高校に統合  
大井高校→小田原城北工業に統合  
2027年度には横浜旭陵高校→旭高校に統合  
永谷高校→横浜桜陽高校に統合  
深沢高校→藤沢清流高校に統合



定時制募集停止される報告がされた  
茅ヶ崎高校（校舎・茅ヶ崎高校HPより）

2026年度以降 定時制募集停止。

横浜翠嵐高校、向の岡工業高校、磯子工業高校、  
茅ヶ崎高校、秦野総合高校、伊勢原高校

**県立高校改革といいますが、そもそも考え方は子どもたちのためではなく、  
県の財政負担を減らすためです。**

県立高校を減らすことは、生徒たちが学びたい学校にいけなくなることです。教育委員会での議論では、統廃合計画についてはすでにスケジュールを示してあることや、希望する人数が減っていることなどを理由にしていますが、県民が減らしてほしいと望んでいるわけではありません。県民のみなさんからパブリックコメントなどで意見を聞く機会もとられませんでした。

少子化も理由の一つにしていますが、学級数を増やして大規模校をつくることよりも少人数学級を実現することが優先です。

定時制高校は、学びなおしの場、外国に繋がる生徒、不登校の生徒の進学先など、大切な役割があります。通学の範囲に高校がなくなることは、学ぶ場所を奪うことになります。すべての学びたい人たちに場所を確保し、学ぶ権利を守ることが県の役割ではないでしょうか。

**皆さんと一緒に、高校統廃合に反対し、計画の見直しを求めていきます。**

加藤なを子ライン公式です。

QRコードを読み込み、ラインに追加して下さい。

